

検査に立ち会う担当者の氏名及び連絡先を記入して下さい
検査員が日程調整を行う場合等に使用します

C-23号様 (第四条の八、第四条の十一の二関係)

中間検査申請書

(第一面)

担当者名
(株)愛建住 建築住太

連絡先☎
会社 (052) 〇〇〇-〇〇〇〇
携帯 (090) 〇〇〇-〇〇〇〇

特定工程に係る工事を終わりましたので、建築基準法第7条の3第2項又は第7条の4第1項(これらの規定を同法第87条の2又は第88条第1項において準用する場合を含む。)の規定により、検査を申請します。申請にあたっては、一般財団法人愛知県建築住宅センター確認検査業務約款を遵守します。又、この申請書及び添付図書に記載の事項は、事実と相違ありません。

一般財団法人 愛知県建築住宅センター
理事長 勢力 常史 様

申請者が連名の場合は、
連名者すべての方の記
名・押印が必要です

平成 〇〇年 〇月 〇日

申請者氏名 愛知 太郎 印

第四面に記載の事項は、事実と相違ありません。

工事監理者氏名 建築 住太 印

申請者又は工事監理者の氏名は、自署の場合、
押印を省略できます

【検査を申請する建築物等】

検査を申請する種別を選んで下さい

- 建築物
- 建築設備 (昇降機以外)
- 工作物 (法第88条第1項)
- 建築設備 (昇降機)
- 工作物 (昇降機)

※受付欄	※検査の特例欄	※検査欄	※決裁欄	※中間検査合格証欄
				平成 年 月 日
				第H 確合建築愛建住セ 号
				係員印

※中間検査結果報告欄
検査年月日 : 平成 年 月 日
検査に関する特記事項

委任状 : 有・無

検査結果 : 合格 ・ 不合格 確認検査員氏名 :

(注意) 検査に関する特記事項の記載は裏面も使用できます

建築主、設置者又は築造主等の概要

【1. 建築主、設置者又は築造主】

【イ. 氏名のフリガナ】 アイチ タロウ
 【ロ. 氏名】 愛知 太郎
 【ハ. 郵便番号】 460-7777
 【ニ. 住所】 名古屋市中区〇〇〇〇丁目〇-〇
 【ホ. 電話番号】 052-〇〇〇-〇〇〇〇

建築主が2以上の時は、1欄に代表者を記入し、別紙に他の建築主を記入して下さい

【2. 代理者】

【イ. 資格】 (一級) 建築士 (大臣) 登録第〇〇〇〇〇〇号
 【ロ. 氏名】 建築 住太
 【ハ. 建築士事務所名】 (一級) 建築士事務所 (愛知県) 知事登録第い-〇〇-〇〇〇〇号
 株式会社 愛建住一級建築士事務所
 【ニ. 郵便番号】 460-8888
 【ホ. 所在地】 名古屋市中区〇〇〇〇丁目〇-〇
 【ハ. 電話番号】 052-〇〇〇-〇〇〇〇

登録番号の有効期限切れに注意して下さい

設計者は確認申請時から変更できません

【3. 設計者】

(代表となる設計者)

【イ. 資格】 (一級) 建築士 (大臣) 登録第〇〇〇〇〇〇号
 【ロ. 氏名】 建築 住太
 【ハ. 建築士事務所名】 (一級) 建築士事務所 (愛知県) 知事登録第い-〇〇-〇〇〇〇号
 株式会社 愛建住一級建築士事務所
 【ニ. 郵便番号】 460-8888
 【ホ. 所在地】 名古屋市中区〇〇〇〇丁目〇-〇
 【ハ. 電話番号】 052-〇〇〇-〇〇〇〇
 【ト. 作成又は確認した設計図書】 設計図書一式

申請に係った設計者はすべて記入して下さい

(その他の設計者)

【イ. 資格】 () 建築士 () 登録第 号
 【ロ. 氏名】
 【ハ. 建築士事務所名】 () 建築士事務所 () 知事登録第 号

【ニ. 郵便番号】
 【ホ. 所在地】
 【ハ. 電話番号】
 【ト. 作成した設計図書】

【イ. 資格】 () 建築士 () 登録第 号
 【ロ. 氏名】
 【ハ. 建築士事務所名】 () 建築士事務所 () 知事登録第 号

【ニ. 郵便番号】
 【ホ. 所在地】
 【ハ. 電話番号】
 【ト. 作成した設計図書】

【イ. 資格】 () 建築士 () 登録第 号
 【ロ. 氏名】
 【ハ. 建築士事務所名】 () 建築士事務所 () 知事登録第 号

【ニ. 郵便番号】
 【ホ. 所在地】
 【ハ. 電話番号】
 【ト. 作成した設計図書】

確認申請時未定だった場合は、記載事項変更届を提出して下さい
また、工事監理者の変更等で記載事項変更届を提出した場合は、変更後の内容を記入して下さい

【4. 工事監理者】
(代表となる工事監理者)

【イ. 資格】 (一級) 建築士 (大臣) 登録第○○○○○○○号
【ロ. 氏名】 建築 住太
【ハ. 建築士事務所名】 (一級) 建築士事務所 (愛知県) 知事登録第い-○○-○○○○○号
株式会社 愛建住一級建築士事務所
【ニ. 郵便番号】 460-8888
【ホ. 所在地】 名古屋市中区○○○○丁目○-○
【ヘ. 電話番号】 052-○○○-○○○○
【ト. 工事と照合した設計図書】 設計図書一式

登録番号の有効
期限切れに注意
して下さい

(その他の工事監理者)

【イ. 資格】 () 建築士 () 登録第 号
【ロ. 氏名】
【ハ. 建築士事務所名】 () 建築士事務所 () 知事登録第 号

【ニ. 郵便番号】
【ホ. 所在地】
【ヘ. 電話番号】
【ト. 工事と照合した設計図書】

【イ. 資格】 () 建築士 () 登録第 号
【ロ. 氏名】
【ハ. 建築士事務所名】 () 建築士事務所 () 知事登録第 号

【ニ. 郵便番号】
【ホ. 所在地】
【ヘ. 電話番号】
【ト. 工事と照合した設計図書】

【イ. 資格】 () 建築士 () 登録第 号
【ロ. 氏名】
【ハ. 建築士事務所名】 () 建築士事務所 () 知事登録第 号

【ニ. 郵便番号】
【ホ. 所在地】
【ヘ. 電話番号】
【ト. 工事と照合した設計図書】

【5. 建築設備の工事監理に関し意見を聴いた者】

(代表となる建築設備の工事監理に関し意見を聴いた者)

- 【イ. 氏名】
- 【ロ. 勤務先】
- 【ハ. 郵便番号】
- 【ニ. 所在地】
- 【ホ. 電話番号】
- 【ヘ. 登録番号】
- 【ト. 意見を聴いた設計図書】

(その他の建築設備の工事監理に関し意見を聴いた者)

- 【イ. 氏名】
- 【ロ. 勤務先】
- 【ハ. 郵便番号】
- 【ニ. 所在地】
- 【ホ. 電話番号】
- 【ヘ. 登録番号】
- 【ト. 意見を聴いた設計図書】

- 【イ. 氏名】
- 【ロ. 勤務先】
- 【ハ. 郵便番号】
- 【ニ. 所在地】
- 【ホ. 電話番号】
- 【ヘ. 登録番号】
- 【ト. 意見を聴いた設計図書】

- 【イ. 氏名】
- 【ロ. 勤務先】
- 【ハ. 郵便番号】
- 【ニ. 所在地】
- 【ホ. 電話番号】
- 【ヘ. 登録番号】
- 【ト. 意見を聴いた設計図書】

確認申請時未定だった場合は、記載事項変更届を提出して下さい
また、工事施工者の変更等で記載事項変更届を提出した場合は、変更後の内容を記入して下さい

【6. 工事施工者】

- 【イ. 氏名】 代表取締役 工事 三郎
- 【ロ. 営業所名】 建設業の許可 (愛知県知事) 第 特〇〇-〇〇〇〇号
株式会社 愛建建設
- 【ハ. 郵便番号】 460-8888
- 【ニ. 所在地】 名古屋市中区〇〇〇〇丁目〇-〇
- 【ホ. 電話番号】 052-〇〇〇-〇〇〇〇

建設業の登録番号の有効期限切れに注意して下さい

【7. 備考】

愛知邸新築工事

会社名はこの位置に記入して下さい

建築物の名称若しくは工事名が決まっている場合は記入して下さい

(第三面)
申請する工事の概要

確認申請書と同じ内容にしてください。

【1. 建築場所、設置場所又は築造場所】

【イ. 地名地番】 名古屋市緑区〇〇〇〇丁目〇番〇
【ロ. 住居表示】 名古屋市緑区〇〇〇〇丁目〇-〇

確認申請書第四面9-ロと同じ特例の区分です

【2. 工事種別】

【イ. 建築基準法施行令第10条各号に掲げる建築物の区分】 第3号
【ロ. 工事種別】 新築 増築 改築 移転
大規模の修繕 大規模の模様替 建築設備の設置
【ハ. 建築基準法第68条の20第2項の検査の特例に係る認証番号】

確認申請書第三面9と同じ工事種別です

【3. 確認済証番号】

第H〇〇確認建築愛建住セ〇〇〇〇〇号

計画変更確認をした場合は、変更後の番号及び交付年月日を記入して下さい

【4. 確認済証交付年月日】

平成 〇〇年 〇月 〇日

【5. 確認済証交付者】

一般財団法人 愛知県建築住宅センター 理事長 勢力 常史

【6. 工事着手年月日】

平成 〇〇年 〇月 〇日

【7. 工事完了予定年月日】

平成 〇〇年 〇月 〇日

確認申請書第三面 17 と同じ特定工程です

【8. 特定工程】

【イ. 特定工程】 屋根ふき工事及び構造耐力上主要な軸組の工事
【ロ. 特定工程工事終了年月日】 平成 〇〇年 〇月 〇日
【ハ. 検査対象床面積】 194.91㎡ m²

特定工程終了年月日から4日以内に中間検査を受けて下さい

【9. 今回の申請以前の中間検査】

(第	回)	(第	回)					
【イ. 特定工程】	()	()				
【ロ. 中間検査合格証交付者】	()	()				
【ハ. 中間検査合格証番号】	()	()				
【ニ. 交付年月日】	(平成	年	月	日)	(平成	年	月	日)

【10. 今回の申請以降の中間検査】

(第	回)	(第	回)					
【イ. 特定工程】	()	()				
【ロ. 特定工程工事終了予定年月日】	(平成	年	月	日)	(平成	年	月	日)

【11. 確認以降の軽微な変更の概要】

【イ. 変更された設計図書の種類】
【ロ. 変更の概要】

確認申請書第四面 10 の床面積を記入して下さい。別棟の駐車場などは対象面積に含みません。木造の場合は合計面積、鉄骨造若しくはRC造は1階の面積を記入して下さい。

【12. 備考】

第四面工事監理の状況は、構造や使用材料、設備などによって内容が異なりますので、それぞれに必要な項目を記載してください

(第四面)

工事監理の状況

〈 木造軸組の場合 〉

	確認を行った 部位、材料の 種類等	照合内容	照合を行った設計 図書	設計図書 の内容に ついて設 計者に確 認した事 項	照合方法	照合結果 (不適の場合 には建築 主に対して 行った報告 の内容)
敷地の形状、高さ、衛生及 び安全	敷地	方位、接道の長さ、 道路幅員、道路境 界、敷地境界 配置寸法 敷地高低差	配置図、測量図 配置図 配置図、測量図	なし なし なし	工事着手前に現場で杭、縁石等の設 置により確認 工事着手前に現場にて確認 工事着手前に現場にて確認	適 適 適
	衛生及び 安全 支持地盤 排水設備	位置、種類、地耐力 排水溝等の位置、経 路等	仕様書 配置図	なし なし	地盤調査報告書により確認 工事着手前に現場にて確認	適 適
	屋根材 外壁材 木材 鉄筋 コンクリート	材料、種類、規格、 仕上 材料、種類、規格、 仕上 材料、種類、規格、 形状、寸法 材料、種類、規格、 形状、寸法、品質 材料、種類、規格、 形状、寸法、品質	仕様書、構造詳 細図 仕様書、構造詳 細図 仕様書、構造詳 細図 仕様書、構造詳 細図 仕様書、構造詳 細図	なし なし なし なし なし	受け入れ時に現場で確認 受け入れ時に現場で確認 受け入れ時に現場で確認 規格品証明書、受け入れ時の検査、 工程終了時に現場照合 配合報告書審査、工程終了時に現場 で照合	適 適 適 適 適
主要構造部及び主要構造部 以外の構造耐力上主要な部 分に用いる材料(接合材料 を含む)の種類、品質、形 状及び寸法	基礎	鉄筋の継手、重ね長 さ	標準図、伏図	なし	工程終了時に現場で確認	適
	基礎と土 台 柱と土台	アンカーボルトの 位置、設置状況 接合方法、接合状況	標準図、構造詳 細図 標準図、構造詳 細図	なし なし	工程終了時に現場で確認 工程終了時に現場で確認	適 適
	柱と横架 材 筋かいの 端部	接合方法、接合状 況、欠込み補強 接合方法、接合状況	標準図、構造詳 細図 標準図、構造詳 細図	なし なし	工程終了時に現場で確認 工程終了時に現場で確認	適 適
	小屋組	緊結方法、緊結状況	標準図、構造詳 細図	なし	工程終了時に現場で確認	適
	屋根材	接合位置、接合方 法、接合状況	標準図、構造詳 細図	なし	工程終了時に現場で確認	適
	建築物の各部分の位置、形 状及び大きさ	基礎	配置、種類、鉄筋の 径、かぶり厚さ	仕様書、平面 図、矩計図	なし	工程終了時に現場で確認
柱		位置、形状、寸法、 通し柱の状況	仕様書、平面 図、矩計図	なし	工程終了時に現場で確認	適
壁		位置、形状、寸法	仕様書、平面 図、矩計図	なし	工程終了時に現場で確認	適
床		位置、形状、寸法、 火打ち材 垂木つなぎ、振れ止 め等	仕様書、平面 図、矩計図	なし	工程終了時に現場で確認	適
小屋組		位置、形状、寸法、 不燃仕様	仕様書、平面 図、矩計図	なし	工程終了時に現場で確認	適
屋根		平面形状、断面形 状、高さ	平面図、矩計 図、断面図	なし	工程終了時に現場で確認	適
建築物全 体						
界壁		位置、形状、寸法	仕様書、平面 図、矩計図	なし	工程終了時に現場で確認	適
構造耐力上主要な部分の防 錆、防腐及び防蟻措置及び 状況	外壁の下 地	防水紙の状況	仕様書、矩計図	なし	工程終了時に現場で確認	適
	GL+1m以 内の柱、筋 かい、土台	防腐措置及び防蟻 措置	仕様書、矩計図	なし	工程終了時に現場で確認	適
特定天井に用いる材料の種 類並びに当該特定天井の施 造及び施工状況	該当なし					

木造の場合、
『木材』の記入
をして下さい

長屋、共同住宅については界壁の内容を記入して下さい

特定天井が該当する場合は下記の内容を記入して下さい
 部位・材料の種類：天井材、支持構造部、接合部
 照合内容欄：材料・種類・規格・仕上・品質・形状・寸法
 照合を行う設計図書：使用構造材料一覧表
 照合方法：受け入れ時の検査及び工程終了時に現場照合

居室の内装の仕上げに用いる建築材の種類及び当該建築材を用いる部分の面積					<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; background-color: #f4a460; display: inline-block;"> 特定工程工事終了時までの内容を記入して下さい </div>	
天井及び壁の室内に面する部分に係る仕上げの材の種類及び厚さ						
開口部に設ける建具の種類及び大きさ						
建築設備に用いる材の種類及びその照合した内容並びに当該建築設備の構造及び施工状況（区画貫通部の処理状況を含む）						
備 考						